

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年5月27日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 0970500435 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人津田福祉会 | | |
| 事業所名 | 和田の家 | | |
| 所在地 | 栃木県鹿沼市白桑田254-12 (電話) 0289-76-2959 | | |
| 評価機関名 | 社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 栃木県宇都宮市若草1-10-6 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年4月17日 | 評価確定日 | 平成20年5月27日 |

【情報提供票より】(平成20年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------|--------------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成15年4月1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 8 人 | 常勤7人(うち兼務2人), 非常勤1人, 常勤換算7.45人 | |

(2) 建物概要

| | |
|------|-----------|
| 建物構造 | 木造 |
| | 1階建ての1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------|----------------|---|-------|
| 家賃(平均月額) | 22,000 円 | その他の経費(月額) | <ul style="list-style-type: none"> ・光熱費—8,000円 ・寝具リース代—65円/1日 ・共有費—実費 ・理美容代—1,000円 ・おむつ代(1枚あたり) —XL100円、L90円、 M80円、尿取15円 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | — | |
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 | 350 円 |
| | 夕食 | 350 円 | おやつ | 200 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要(平成20年3月1日現在)

| | | | | | | |
|-------|-----|------|-----|------|-----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 名 | 女性 | 9 名 | |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 4 名 | | | |
| 要介護3 | 2 名 | 要介護4 | 1 名 | | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 名 | | | |
| 年齢 | 平均 | 82 歳 | 最低 | 75 歳 | 最高 | 91 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------|
| 協力医療機関名 | さつきクリニック |
|---------|----------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街の中に母体となる法人の特別養護老人ホーム等の施設が立ち並ぶ一角にこのホームは位置する。入居者一人ひとりに対しての十分なアセスメントや見守りを実施することにより、ホームの理念である「その人らしい生活づくり」を実現している。少人数の利点や事業所としての柔軟性を活用して、外出の機会や入浴回数・時間等に対して本人の意向にそった一日が送れるよう支援している。入居者の表情が豊かであり、会話を楽しむ様子が見られた。日々のケアの中で本人の意向も十分聞き取りながら職員全員が入居者の様子などを把握できる体制や連携が取れているホームである。入居者と1泊温泉旅行を企画するなど、本人からの意向を取上げて支援していく姿勢が強くなるかかえるホームである。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 地域との連携について、地域の祭りに参加したり、近隣の人々を「和田の家祭り」に招待するなど、より関係性が深まる工夫がなされるようになっている。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 管理者が職員一人ひとりに調査項目を口頭で聞きながら話し合いを行い、管理者がまとめて作成をしている。結果については運営推進会議での報告や全体会議を活用しながら職員への周知を予定している。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 家族代表、行政職員、地域包括支援センター職員を中心として2ヶ月に1度開催し、ホームの活動状況を報告し、委員からの意見や助言をもらって運営に活かしている。委員からの提案を参考にして家族を交えた外出や行事の取り組みを実施している。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 家族の訪問時には積極的に家族からの意向を聞き、入居者の日々の生活の様子や職員異動などを伝えるよう努めている。月に1度、本人の写真を入れた便りを家族に送付している。金銭は法人で預かり、管理表で確認してもらっている。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 地域の祭りへの参加、ホーム行事である「和田の家祭り」に地域の方を招待すること等を通して交流を図っている。自治会には法人全体として加入している。今後は自治会の清掃活動も検討している。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 入居者の安心と尊厳のある生活支援を目標に、ホームの理念として「その人らしい生活づくり」を掲げて、その実現を図るための実践を行っている。 | ○ | 近隣の住民や自治会、関連の機関等の交流を通して、より地域の中で共に支え合う関係づくりに視点を持つホーム独自の理念の検討にも期待したい。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 毎日の申し送りや日々のケアの中で、また月1回の全体会議等で理念について確認し合い、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の祭りへの参加、ホーム行事である「和田の家祭り」に地域の方を招待すること等を通して交流を図っている。自治会には法人全体として加入している。 | ○ | 地域の清掃活動への参加も検討しており、自治会の活動への積極的な参加を図っている。このような取り組みの中で、更に地域の人々と交流できるようになっていくことに期待したい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 前回の外部評価の結果については、運営推進会議で報告し、参加者からの意見を収集した。今回の自己評価は職員と意見交換を行いながら管理者がまとめて作成した。 | | |

和田の家

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|----------------------|--|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 家族代表、行政職員、地域包括支援センター職員を中心として2ヶ月に1度開催し、ホームの活動状況を報告し、委員からの意見や助言をもらって運営に活かしている。 | ○ | 地域の理解や支援を更に得られるようになるための機会として、今後連携していきたいと考える機関に呼びかけるなど、構成メンバーや開催時間等の検討をしていくことにも期待したい。 |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 開設以来、市との連携は図られており、担当者からの助言を得ながらサービスの質の向上に活かしている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | 家族の訪問の際に声をかけ、利用者の健康状態やホームの職員異動についても伝えている。月1回、利用者本人の写真を添えた便りを家族にあてて送付している。金銭は法人で預かり、管理表で確認してもらっている。 | ○ | 月1回送付している便りについて、ホームの日常や職員の異動、ホームの考え方などを伝える手段として「ホーム便り」として発行できるような工夫などにも期待したい。 |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 重要事項説明書に苦情相談窓口としてホーム、市、国保連の連絡先を明記している。また、法人全体では第三者委員等も配置して対応している。ホームには意見箱を設置しているが今まで苦情はない。また、年1回、無記名としてのアンケートを実施し会議で改善策等を話し合っている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 今年は法人の人事異動により5名の交替があったが、事前に入居者に周知し、入居者へのダメージは見られなかった。 | ○ | 法人全体の定期的な人事異動であるが、入居者の重度化に伴い、入居者が馴染みの関係を維持することで精神的な安定を図ることへの検討を期待したい。 |

和田の家

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修計画に基づいて、法人内の研修に職員が全員参加している。外部研修については職員の経験年数に応じた内容、業務上に必要な内容などを勘案して研修を紹介し、受講できるようにしている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 県グループホーム協会に加入しており、研修会や意見交換等での交流を図っている。また、同業者の訪問も多く、職員同士での交流も図りながらサービスの質を向上させている。 | | |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人や家族の見学時にわかりやすく説明をし、相談に応じながら本人の意思を尊重する配慮をしている。入居間もない時期には特に入居者に不安を与えないよう、徐々に慣れるよう工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 入居者のできることを的確に把握しながら職員と一緒にいることで、お互いが支え合う関係をつくることを大切に支援している。職員は郷土料理や季節の風習等についても入居者から教えてもらう機会をつくっている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の関わりの中から入居者一人ひとりの希望や意向を把握するよう努めており、会話の中で入居者から意見を言う機会をつくるようにしている。把握したことについては職員全体に周知するような体制が取られている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 管理者や介護支援専門員、主任が本人や家族から十分にアセスメントをしており、サービス担当者会議において職員の意見や医師の助言を参考に介護計画を作成している。また、日々のケアの中で職員間での共有も図られている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画の見直しは半年を基本としているが、状態の変化が見られた場合には本人や家族と話し合いをし、職員とも話し合った上で新たな計画を作成している。作成した計画については家族の同意を得ている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 日々の買い物等を通して外出の援助を行っている。また、1泊温泉旅行なども企画して本人や家族の要望に応じた柔軟な対応に努めている。 | | |

和田の家


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族が希望するかかりつけ医での受診を最低月1回は行えるように支援している。状態の変化時には、隣接する協力医療機関での対応もしている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合の対応や看取りに関する指針を作成しており、家族に説明をしている。また、法人内の研修において看取りについて研修して職員間での共有が図られている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 法人内でのNG用語集を活用し、入居者一人ひとりのプライバシーを尊重しながら言葉かけ、対応に十分注意をはらっている。また、個人情報保護規程により記録等も取り扱いが慎重に行われている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な一日の流れはあるものの日課は特に決めておらず、入居者一人ひとりの体調や天候等にも配慮しながら支援をしている。訪問時にも居室で過ごしたりリビングで職員との談話を楽しむ様子がうかがえた。 | | |

和田の家

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 入居者の好みに配慮しながら調理を行っている。献立は法人の管理栄養士が作成をして食材も法人から提供されている。訪問時にも入居者・職員と一緒に調理をする姿が見られ、準備や片付けを一緒に行っている。 | ○ | 職員は弁当等を食べている。入居者への食事への配慮を十分に行うためにも、検食制度の取り入れなどで調理された食事を1名の職員は摂れるような体制の検討を期待したい。 |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 毎日対応できるようになっており、午後の時間を基本として就寝時間前に入浴も可能となっている。家庭として当たり前の時間帯に入れるよう、入居者の好きな時間帯に入浴を支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 食事の用意やテーブル拭き、庭の草取り、花や木の水やり等、入居者ができることを役割として分担している。また、庭にジャガイモを植えたり、職員と一緒に歌を歌ったり一緒に楽しめるよう支援をしている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日用品の買い物や外食の機会を設けている。また、車での遠出や近隣へのドライブを組み入れながらの外食も行っている。日常的に近所や庭の散歩を職員と一緒にしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 職員一人ひとりが十分な見守りを行っているため、日中は鍵を掛けていない。また、鍵を掛ける弊害を研修し、職員は共通理解をしている。 | | |

和田の家

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 法人内の併設施設と合同で総合防災訓練を定期的に行っている。また、夜間の訓練も行っている。日頃から地域の自治会からの災害時の協力体制を話し合っている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 併設している特別養護老人ホームに管理栄養士がおり、栄養のバランスを考えながら献立を作成している。水分摂取はチェック表を活用しながら十分に摂取できるよう支援している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホームの建物は木材をふんだんに使用しており、リビング兼食堂は間取りが広く取られている。テーブルには季節の花を飾っている。天窓から自然の光が入るような構造となっており、備品や調度品は家庭的な物を採用して居心地の良い家庭的な雰囲気づくりを心がけている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者の馴染みの物が自由に持ち込まれており、仏壇やコタツ、タンス等が置かれ、入居者が居心地良く過ごせるように工夫されている。 | | |

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。